



入居者とスタッフとで つくりあげた

「ゆいま～る大曾根」 1周年記念祝賀会 が行われました！

2017年9月にオープンした

「ゆいま～る大曾根」は、このたび無事に1周年を迎えることができました。入居者同士が助け合い、支え合い、多世代が暮らす地域社会ともつながっていく―それが私たちが目指す

生き方・暮らし方です。この1年、入居者発案の「園芸」「絵手紙」「健康麻雀」などのクラブができ、自治会の催しにも積極的に参加してきました。

1階にはNPO法人わっぱの会が運営するコミュニティスペース「ソーネおおぞね」ができたことで、若いお母さんや子どもたちが大勢集まるようになりました。

ここゆいま～る大曾根には、子どもの遊ぶ声が聞こえ、色々な世代がごちゃまぜに住むふつうの暮らしがあります。9月22日、ゆいま～る大曾根

1周年を記念して祝賀会がソーネホールにて開かれました。各所で笑顔があふれ、入居者とスタッフとでつくりあげたアットホームな会の様子をご報告いたします。

まずは、主催者側として弊社代表取締役社長の須藤康夫から、「ゆいま～る大曾根」の特徴やこれからの展望についてあいさつがありました。続いて、来賓としてNPO法人わっぱの会代

表の斎藤縣三さんより「ソーネおおぞね」1年間の動きやこれからの試みについて、自治会長の小川芳明さんより、地域が明るくなつたとのうれしいあいさつがありました。



大曾根住宅は、シャッター商店街や空き室が多かったが、ゆいま～る大曾根、ソーネおおぞねができて、全体に明るくなった。自治会のクラブ活動や、夏祭りなどの行事にも参加・お手伝いいただいた。これからも親睦を深めて、安心して暮らせる住宅としたい。

自治会長
小川芳明さん



障がいのある人と共に生きる・働くということで事業展開してきた。「ソーネおおぞね」で販売しているパンや野菜も各事業所で作っている。子ども食堂「ソーネ みんなでごはん」やソーネホールを使った大衆演劇が好評。今後もゆいま～るの方々と一緒につくっていききたい。

NPO法人わっぱの会
代表 斎藤縣三さん



既存の団地をリノベーションした分散型サ高住だから、約50㎡という広さとお手ごろ家賃を実現できた。わっぱの会さんの「ソーネおおぞね」ができたことで、多世代がつどい助け合い支え合う交流の場になった。全国820万戸の空き家にこのしくみが広がってほしい。

弊社代表取締役社長
須藤康夫



[1, 3, 5]入居者の作品、[2]ハンドベル演奏
[4]参加者に配られたクッキーはわっばの会手作り
[6]琴演奏



名古屋にふたつの「ゆいま〜る」 ゆいま〜る神南 11月オープン!! 見学会開催中



「右」2LDKの「Jタイプ」
「左」1LDKで広々「Sタイプ」

もう一つの分散型サービス付き高齢者向け住宅が名古屋市港区にオープンします。居室の広さは62.52㎡。お部屋のタイプは1LDK、2LDKの2タイプあります。徒歩3分以内に、スーパー、温泉施設、スポーツクラブ、病院があり、とても暮らしやすい場所です。アクセスは、地下鉄伝馬駅を出た「熱田伝馬町」バス停から10分の「南陽通五丁目」バス停下車徒歩3分。「金山」まで30分圏内、熱海神宮までバスで約13分です。

〒455-0021 名古屋市港区木場町 6 番 18
【お問合せ】 ゆいま〜る神南入居相談室 <https://yui-marl.jp/jinnan/>
フリーダイヤル 0120-812-560

ゆいま〜る 大曾根

現地見学会・毎日開催

【お申し込み・お問合せ・ご相談】

フリーダイヤル
0120-155-273
ホームページ
<http://yui-marl.jp/ozone/>

〒462-0810 愛知県名古屋市区
山田 二丁目11番62号
大曾根併存住宅1棟1階

皆さんが本音が、入居者の不安もあつた

「わっばの会」提供のおいしそうな料理が並ぶ中、ゆいま〜る大曾根2期第1号入居者の安田泰彦さんの乾杯で会がスタート。多くの入居者が参加され、新旧の入居者で話がはずみます。会場を彩るのは、入居者の「絵手紙」や「書」、「ちぎり絵」など。足を止めて眺めている方もいらつしやいました。テーブルセッティングや受付も、積極的に入居者が手伝ってくれ、スタッフも大助かりでした。

「きらきら星」ほか3曲を楽しみました。続いて、入居者による琴演奏。「箱根七里変奏曲」ほか、クラシックの「乙女の祈り」も、琴だとまた違った趣になり、堪能しました。

「1年前からなのになつと昔からの知り合いみたい」（寒川）、「準備段階から関わっていたのでとても感激」（磯崎）、「この団地に住んでいることが縁となつて勤めていきます」（宮崎）、そしてハウス長の石黒から「あつという間の1年だった。不安もあつた

がいい方。わっばの会さんや自治会とも連携して、皆さんと支え合いながらこれからもがんばりたい」と締めくくりました。大曾根の企画開発から担当していた西尾からは、当時の話も補足され、オープンまでとオープン後1年の時を参加者全員で共有できたと思います。約2時間の会でしたが、入居者が交流し、理解が深まったよい会となりました。これから

※スライドは好評につき、ホームページでも公開予定。